惑星の王者・木星を見よう！
月のある日はスマホで月撮影も！

星空観察会のご案内

本日は国民宿舎小豆島をご利用いただき、まことにありがとうございます。

当館では、本館３階屋上において、午後??時??分から午後??時??分頃まで、移動用としては大型の天体望遠鏡を使った星空観察会を開催します。

春は空が霞んだような日が多いですが、これから風も弱まり、日々暖かくなって、星空観察に適した季節です。

見ものは何といっても木星ですが、有名なオリオン大星雲など、冬の星雲・星団もまだまだ見ることができ、はるか彼方の銀河が数多く見られる季節でもあります。

月が出ている夜は月もご覧いただきますが、双眼装置を使って両目で見る月のクレーターや山脈は大迫力で眼前に迫ってきます。半月から満月の間は、スマホ限定とさせていただきますが、クレーターもはっきり写る写真を撮るサービスも行っていますし、運が良ければ流れ星も見られるかも？大勢の方のご参加をお待ちしております。

ご覧いただく予定の天体

木星

この時期、東の空で一番明るい星が木星です。望遠鏡で見ると 2 本の縞模様のほか、運が良ければ木星の台風である大赤斑や複雑な模様がご覧いただけます。また、4 つのガリレオ衛星や衛星の影が木星の本体に落ちる様子、木星から出現する様子など大変興味深く、眺めていて飽きることがありません。神秘的な姿をぜひ自分の目でお確かめください。

星雲・星団

星雲には私たちの銀河系と同じく数百億～数千億の星の集まりである系外銀河と、ガスが星の光によって照らされている散光星雲、星が爆発した後の姿である惑星状星雲の 3 種類があります。それぞれ大変淡い光であり、光を蓄積した天体写真とは比べるべくもありませんが、数千光年(1 光年は約 10 兆キロ)から遠いものは数千万光年先にある天体を直接肉眼で見ることにはまた別の趣があります。

今回は、1200 万光年先の銀河であるおおぐま座 M81・M82 銀河、大型の散開星団であるふたご座 M35、無数の星がボール状に集まったりょうけん座 M3 などをご覧いただきます。目を暗闇に十分慣らしてから見ると、まるで万華鏡のように無数の星が瞬くのが見え、宇宙の神秘を感じさせてくれます。小豆島の星空をぜひお持ち帰りください。